

平成29年9月6日  
新潟県防災局原子力安全対策課

## 1 安全協定に基づく状況確認

- 8月7日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- ・ 6月22日に東京電力が公表した誘導灯電源における回路の接続不備について、是正状況と再発防止策を確認しました。
- ・ 7月12日に東京電力が公表した2号機の防火壁貫通部の防火処理未実施箇所について、是正状況と今後の対策を確認しました。

## 2 新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会の開催

8月8日、平成29年度第1回新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会を開催しました。

原発事故に関する3つの検証等について委員会に報告するとともに、技術委員会における福島第一原発の事故原因の検証の今後の進め方について議論しました。

## 3 新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議の開催

9月1日に、第67回新潟県原子力発電所周辺環境関し評価会議を開催し、平成28年度の環境放射線監視調査結果及び温排水等漁業調査結果について評価していただきました。

## 4 米山知事が福島県知事と面会するとともに福島第一原発を視察しました。

9月4日に米山知事が福島県知事と面会するとともに、浪江町で被災状況を視察しました。また同日、福島第一原子力発電所を視察しました。

## 5 その他

8月10日： 報道発表 [原発事故に関する3つの検証について、「健康・生活委員会」及び「避難委員会」の委員が決まりました。]

8月24日： 報道発表 [第67回新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議開催案内]

8月28日： 報道発表 [米山知事が福島県知事と面会するとともに、福島第一原子力発電所を視察します。]

9月3日： 報道発表 [～北朝鮮核実験による放射能対応（第1報）～県内の放射線監視を強化しました。]

9月3日： 報道発表 [～北朝鮮核実験による放射能対応（第2報）～大気中のちり等に含まれる放射能の観測を開始し、県内の放射線監視体制を強化しています。]

9月4日： 報道発表 [～北朝鮮核実験による放射能対応（第3報）～空間放射線量に異常は確認されていません]

9月5日： 報道発表 [～北朝鮮核実験による放射能対応（第4報）～大気中のちり等から人工放射性物質は検出されませんでした]

平成 29 年 9 月 3 日  
防 災 局

～北朝鮮核実験による放射能対応（第1報）～  
県内の放射線監視を強化しました。

本日、政府から、北朝鮮が核実験を実施した可能性があるとの連絡を受けました。  
これを受け、県では、県内7箇所（新潟、新発田、燕、長岡、南魚沼、上越、佐渡）  
で大気浮遊じんの放射能測定を開始、また、国の要請を受け、新潟市西区で採取した  
雨水等に含まれる放射能測定を開始するなど、監視体制を強化しました。

本日 13時25分現在、県内の放射線の測定結果は通常の値です。

県内の空間放射線量率の値については、下記ホームページをご覧ください。

【空間放射線量率】

○新潟県 環境放射線監視テレメータシステム

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>

(参考)

県内の空間放射線量率をiPhoneやAndroidスマートフォンで素早く確認できます。  
次の2次元コードを使ってダウンロードできますのでご活用ください。



iOS版 : AppStore



Android版 : Google Play

本件についてのお問い合わせ先  
原子力安全広報監 伊藤  
(内線) 6451  
(直通) 025-282-1694

平成29年9月3日  
防 災 局

**～北朝鮮核実験による放射能対応（第2報）～  
大気中のちり等に含まれる放射能の観測を開始し、  
県内の放射線監視体制を強化しています。**

北朝鮮の核実験を受け、県では、県内7箇所（新潟、新発田、燕、長岡、南魚沼、上越、佐渡）で大気浮遊じんの放射能測定を開始、また、国の要請を受け、新潟市西区で採取した雨水等の放射能分析を開始し、監視体制を強化しました（9月3日午後1時30分お知らせ済み）。

今後、当日午前9時までに採取した7箇所の大気中のちり及び、当日午後3時までに新潟市西区で採取した雨水等の測定結果を、別紙の様式により翌日午前11時を目処にお知らせします。

なお、新潟県防災ポータルでもお知らせします。

また、県内の空間放射線量率の値については、下記ホームページをご覧ください。

**【空間放射線量率】**

○新潟県 環境放射線監視テレメータシステム

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>

**【大気浮遊じん・雨水等】**

○新潟県防災ポータル

<http://www.bousai.pref.niigata.jp/contents/index.html>

※測定結果の第1報は、5日午前11時を目処にお知らせします。

本件についてのお問い合わせ先  
原子力安全広報監 伊藤  
(内線) 6451  
(直通) 025-282-1694

平成29年9月4日  
防 災 局

～北朝鮮核実験による放射能対応（第3報）～  
空間放射線量率に異常は確認されていません

北朝鮮が核実験を実施したと発表したことを受け、県では、放射線監視体制を強化し、監視にあたっています。

県内の空間放射線量率は、9月4日午前11時現在、異常は確認されていません。

測定値は、下記ホームページでご覧になれます。

なお、次回の空間放射線量率の状況のお知らせは、明日午前11時を目処に行う大気浮遊じん及び雨水等の測定結果の発表に合わせて行います。

【空間放射線量率】

○新潟県 放射線モニタリング結果

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp>

【大気浮遊じん・雨水等】

○新潟県防災ポータル

<http://www.bousai.pref.niigata.jp/contents/index.html>

※1回目の結果は、明日午前11時を目処にお知らせします。

本件についてのお問い合わせ先  
原子力安全広報監 伊藤  
(内線) 6451  
(直通) 025-282-1694

平成 29 年 8 月 10 日

**原発事故に関する 3 つの検証について、「健康・生活委員会」及び「避難委員会」の委員が決まりました。**

原発事故に関する 3 つの検証について、「健康・生活委員会」及び「避難委員会」の委員を別紙のとおり決定しましたのでお知らせします。

なお、各検証委員会の正式名称は次のとおりとしました。

**健康・生活委員会**

新潟県原子力発電所事故による健康と生活への影響に関する検証委員会

**避難委員会**

新潟県原子力災害時の避難方法に関する検証委員会

(注) 検証総括委員会については、各委員会の委員長及び副委員長（技術委員会  
は座長及び座長代理）等で構成することとしており、決定次第お知らせしま  
す。

＜本件についてのお問い合わせ先＞

- ◆避難委員会・技術委員会・検証総括委員会に関する事項  
防災局原子力安全対策課 須貝  
(直通) 025-282-1690 (内線) 6450
- ◆健康・生活委員会（健康分科会）に関する事項  
福祉保健部健康対策課 堀井  
(直通) 025-280-5785 (内線) 2651
- ◆健康・生活委員会（生活分科会）に関する事項  
県民生活・環境部震災復興支援課 遠藤  
(直通) 025-280-5218 (内線) 2374

## 新潟県原子力発電所事故による健康と生活への影響に関する検証委員会の委員

## (1) 健康分科会

(平成 29 年 8 月 10 日現在)

氏名	所属・職名等	備考 (委員としての担当分野)
青山 英史	新潟大学医学部 教授	放射線医学
秋葉 澄伯	鹿児島大学 名誉教授	疫学・公衆衛生学
木村 真三	獨協医科大学 准教授	放射線衛生学
鈴木 宏	新潟青陵大学 副学長	疫学・公衆衛生学
中村 和利	新潟大学医学部 教授	衛生学

## (2) 生活分科会

(平成 29 年 8 月 10 日現在)

氏名	所属・職名等	備考 (委員としての担当分野)
丹波 史紀	立命館大学産業社会学部人間福祉専攻准教授 (H29. 3 末まで福島大学行政政策学類准教授)	社会福祉
松井 克浩	新潟大学副学長 人文学部教授	社会学
松田 曜子	長岡技術科学大学環境社会基盤工学専攻准教授	防災学
除本 理史	大阪市立大学大学院教授	環境経済学

## 新潟県原子力災害時の避難方法に関する検証委員会の委員

(平成 29 年 8 月 10 日現在)

氏 名	所 属 ・ 職 名 等	備 考 (委員としての担当分野)
江部 克也	長岡赤十字病院救命救急センター長	災害医療
大河 陽子	本塩町法律事務所 弁護士	法律学
上岡 直見	環境経済研究所代表	交通工学、避難研究
佐々木 寛	新潟国際情報大学教授	地域安全保障論 リスク社会論
佐野可寸志	長岡技術科学大学教授	交通工学
澤野 一雄	株式会社総合防災ソリューション主任研究員	危機管理、防災訓練
清水 晶紀	福島大学行政政策学類准教授	行政法学、環境法学
関谷 直也	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 特任准教授	災害情報伝達、災害心理
山澤 弘実	名古屋大学大学院工学研究科教授	環境放射能、大気拡散

(参考) 新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会の委員

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

氏 名	所 属 ・ 職 名 等	備 考 (委員としての担当分野)
小山 幸司	三菱重工業株式会社パワードメイン 原子力事業部機器設計部部長代理	材料力学、構造力学
佐藤 暁	株式会社マスター・パワー・アソシエーツ 取締役副社長	原子力発電の国際情報、 ヒューマンエラー
杉本 純	東京工業大学特任教授	シビアアクシデント対策
鈴木 雅秀	長岡技術科学大学大学院工学研究科教授	原子力安全、材料・保全
鈴木 元衛	元・日本原子力研究開発機構安全研究センター 研究主幹	金属材料学、軽水炉燃料
立崎 英夫	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所被ばく医療センターセンター長	放射線防護
立石 雅昭	新潟大学名誉教授	地質学、堆積学
田中 三彦	科学ジャーナリスト	材料力学、構造解析
中島 健 (座長)	京都大学原子炉実験所副所長	原子炉物理、臨界安全
西川 孝夫	東京都立大学名誉教授	地震工学、耐震工学
橋爪 秀利	東北大学大学院工学研究科教授	原子炉工学、核融合学
原 利昭	新潟大学名誉教授、新潟工科大学名誉教授	材料工学、 構造シミュレーション
藤澤 延行 (座長代理)	新潟大学工学部(教育組織)教授、新潟大学可視化 情報研究センター(研究組織)センター長 教授	熱流体工学、 機械システム
山崎 晴雄	首都大学東京名誉教授	地理学、地質学
山内 康英	多摩大学情報社会学研究所教授	災害情報伝達



# 会 議 開 催 案 内

## 第 67 回新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議

この会議の定例会を次のとおり開催しますので、傍聴を希望する方は、次に定める傍聴手続きに従って傍聴してください。

- 1 開催日時 平成 29 年 9 月 1 日（金曜日）  
午前 10 時 30 分から正午頃まで
- 2 開催場所 新潟市中央区新光町 4 番地 1  
新潟県庁 西回廊講堂
- 3 議題等 (1) 平成 28 年度環境放射線監視調査結果の評価について  
(2) 平成 28 年度温排水等漁業調査結果の評価について
- 4 傍聴人の定員 30 人
- 5 傍聴受付時間 会議当日の午前 10 時から午前 10 時 30 分まで
- 6 傍聴手続 会議の傍聴を希望される方は、上記の開催予定時刻までに、会場にお越しください。会場でお受けしますので、氏名と住所を記入いただきます。  
なお、受付は先着順に行い、会議の開催予定時刻であっても、定員になり次第終了します。
- 7 問い合わせ先 (事務局) 新潟県防災局  
原子力安全対策課放射能対策室 大谷、伊比  
電話 025-282-1697（直通）

平成29年8月28日

防災局原子力安全対策課

**米山知事が福島県知事と面会するとともに、  
福島第一原子力発電所を視察します。**

米山知事が下記のとおり福島県を訪問し、福島県知事と面会するとともに、福島第一原子力発電所を視察します。

記

1 期 日

平成29年9月4日(月)

2 日程の概要等(予定)

午前9時30分～午前9時45分 福島県知事と面会(福島県庁)

午後1時40分～午後6時00分 福島第一原子力発電所視察

※ 福島県庁から福島第一原子力発電所に向かう途中、浪江町内で被災地の視察を予定しています。

3 その他

詳細な日程や視察場所、取材方法(報道機関への公開範囲等)などは、現在調整中のため、8月30日(水)を目途に改めてお知らせする予定です。

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全対策課長 須貝

(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

平成29年9月5日  
防 災 局

～北朝鮮核実験による放射能対応（第4報）～  
大気中のちり等から人工放射性物質は検出されませんでした

9月3日午後4時頃から9月4日午前9時頃までに県内7箇所<sup>(※)</sup>で採取した全ての大気中のちり（大気浮遊じん）及び9月3日午後2時30分頃から9月4日午後3時頃までに新潟市西区で採取した雨水等からは、人工放射性物質は検出されませんでした。

測定結果は、別紙のとおりです。

(※)新潟市、新発田市、燕市、長岡市、南魚沼市、上越市、佐渡市

本日午前9時までに採取した大気中のちり及び本日午後3時までに採取した雨水等に含まれる放射能の測定値を、明日午前11時を目処にお知らせします。

【大気浮遊じん・雨水等】

○新潟県防災ポータル 北朝鮮核実験関連

<http://www.bousai.pref.niigata.jp/contents/3063/index.html>

【空間放射線量率】

○新潟県 放射線モニタリング結果

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>

本件についてのお問い合わせ先  
原子力安全広報監 伊藤  
(内線) 6451  
(直通) 025-282-1694

# お知らせ

## 大気浮遊じん等に含まれる放射能の測定状況

防 災 局  
平成29年9月5日

### <大気浮遊じん>

- 1 採取期間 9月3日午後4時頃 ～ 9月4日午前9時頃
- 2 検査方法 県内7箇所では採取した大気中のちりを、県放射線監視センターで測定しました。
- 3 測定結果

採取場所	人工放射性物質 (Bq/m <sup>3</sup> )
新潟市西区曾和（放射線監視センター新潟分室）	検出されず
新発田市豊町（新発田地域振興局）	検出されず
燕市白山町（大気汚染測定局）	検出されず
長岡市沖田（長岡地域振興局健康福祉環境部）	検出されず
南魚沼市六日町（南魚沼地域振興局健康福祉環境部）	検出されず
上越市春日山町（上越地域振興局健康福祉環境部）	検出されず
佐渡市相川二町目（佐渡地域振興局）	検出されず

【検出下限値：約0.0001Bq/m<sup>3</sup>（セシウム137）】

### <雨水等>

- 1 採取期間 9月3日午後2時30分頃 ～ 9月4日午後3時頃
- 2 検査方法 新潟市西区で採取した雨水等を、県放射線監視センターで測定しました。
- 3 測定結果

採取場所	人工放射性物質 (Bq/m <sup>2</sup> )
新潟市西区曾和(放射線監視センター新潟分室)	検出されず

※ 雨水等は、確認された人工放射性物質毎の結果を公表します。

人工放射性物質が確認されない場合は、「検出されず」となります。

### 【測定値の単位について】

- ・ Bq (ベクレル) とは、放射能を表す単位で、1ベクレルでは1秒間に1個の原子核が崩壊し、放射線を放出します。